

## 三条塚古墳(富津市)

前方が三条塚古墳/6世紀末築造の前方後円墳/右手前が後円部、左奥が前方部/盾形の二重周溝が巡っていたと云う/北東側から見たところ



正面は後円部(東側から見たところ)で前方に説明坂が立っている



ここから後円部に進もう



古代の前方後円墳である三条塚古墳を利用しながら、近世の城郭遺構である飯野陣屋が造られているため、三条塚古墳の墳丘の東側は、江戸時代の末期に藩校の明進館が建てられた関係で大きく削られており、また墳丘そのものも飯野陣屋築造当初は陣屋の物見台として用いられた可能性が高いと云う

## 三条塚古墳 (下飯野字三条塚)

### 飯野ふるる里散歩道 4

飯野神社の裏手に位置する前方後円墳で、墳丘長百二十一メートル、後円部径五十七メートル、前方部幅七十二メートルを測り、内裏塚古墳に次いで古墳群中第二位の大きさである。現在、後円部の墳丘中腹に横穴式石室の天井石の一部が露出しているが、平成元年にこの天井石から手前側部分の石室の発掘調査が行なわれ、人骨三体分と乳文鏡・金銅製耳環・馬具類・直刀・銀製空玉・ガラス玉・須恵器などの副葬品が出土した。六世紀末頃の築造と見られ、この時期の前方後円墳としては東日本最大の規模である。

古墳の周囲には全長百九十三メートルの二重周溝がめぐり、今も一部原形をとどめている。埴輪は存在しない。また後円部の東側には、江戸時代末期に飯野藩の藩校(明新館)が建てられていた。

平成十九年五月吉日

飯野地域活性化推進協議会

この先にも説明板が立っている/前方はくびれ部辺りか



埴輪が検出されておらず、埴輪の風習が途絶えた直後の築造とされる/三条塚古墳は飯野陣屋の遺構内にあり、東側周濠の一部が二の丸と三の丸との間の周濠となっている以外は、飯野陣屋の三の丸の一部となっている。また、西側の外側周濠は飯野陣屋三の丸の堀の一部として利用され、飯野陣屋の三の丸西側にある土塁の一部は、三条塚古墳の内周濠と外周濠との間の周堤を利用したものと考えられていると云う

## 富津市指定史跡 三条塚古墳（富津市下飯野字三条塚）

昭和48年（1973）7月6日 市指定史跡

規模：墳丘長122m・後円部径57m・前方部幅72m・後円部高6.0m・前方部高7.2m  
盾形二重周溝を含めた全長193m

埋葬施設：横穴式石室（後円部東側に開口）長さ8.5m以上・幅1.5m前後

出土遺物：乳文鏡1・金銅製中空耳環1・馬具類（金銅製鞍金具・鞍・壺鍔金具・素環雲珠）・  
直刀1・鉄鏃片2・鉄釘1・銀製算盤形空玉8以上・ガラス小玉2・土製漆塗小玉  
74・須恵器（高坏蓋1・高杯身2・壺蓋1）以上、平成元年度調査出土品

出土品保管場所：富津市教育委員会

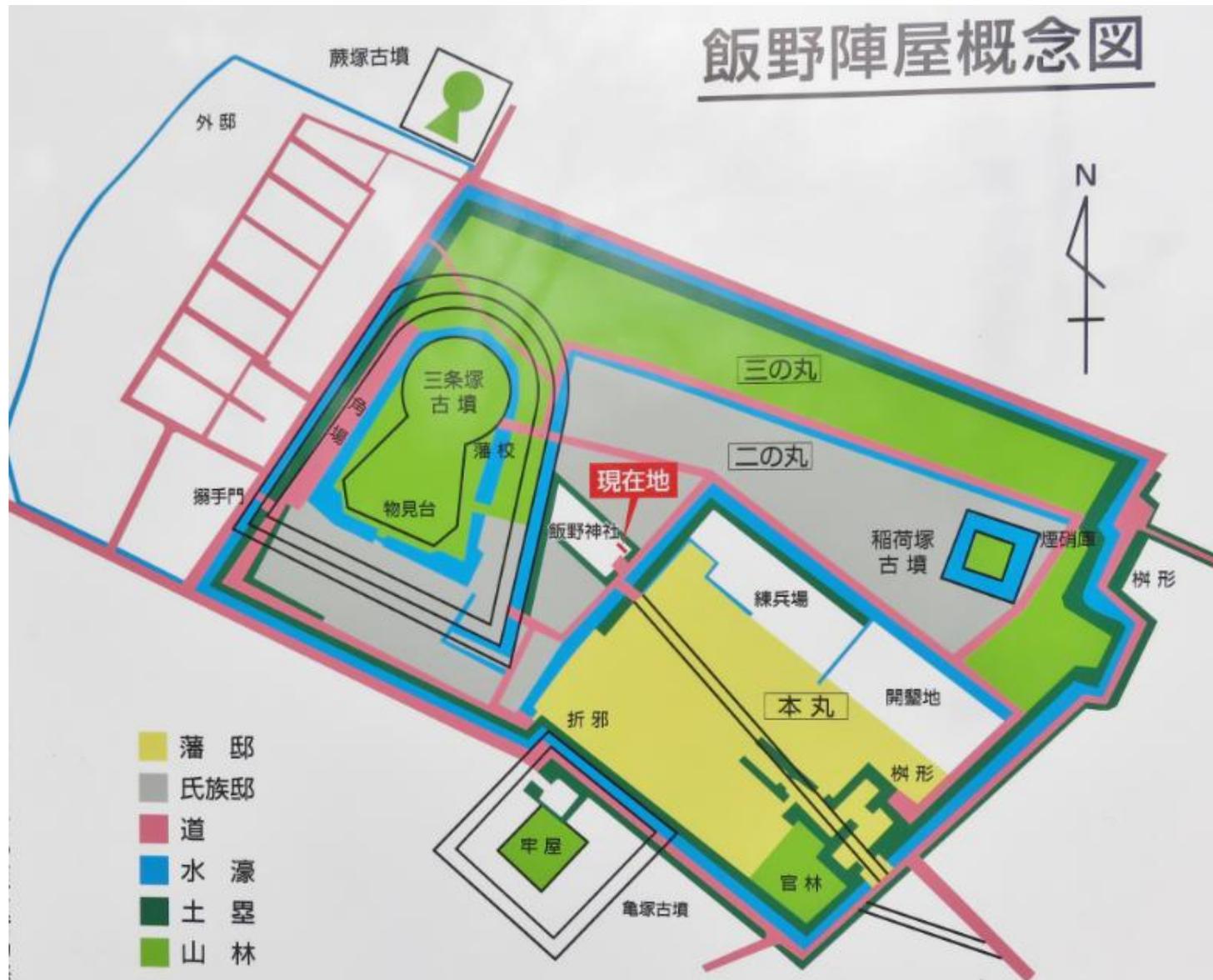
古墳群中では第2位の規模の前方後円墳で、大形前方後円墳の中では最終段階の6世紀末頃に造営されたと推定される。内裏塚・九条塚・稲荷山・古塚の各古墳には埴輪が認められていたが、当古墳には埴輪が存在せず、埴輪を立てる風習が途絶えた直後の築造と考えられる。

後円部径と前方部幅は九条塚古墳とほぼ等しい値を示すが、前方部が長く、墳丘全長は九条塚よりも遙かに大きくなっている。当古墳は江戸時代の飯野陣屋の中に位置し、古墳の外側周溝が陣屋の外濠に再利用されている。また幕末には古墳の東側に飯野藩校・明新館が建てられたため、墳丘の一部がコ字形に削られている。

当古墳の発掘調査は平成元年（1989）に君津郡市文化財センターによって行われ、二重周溝の全体像が明らかになるとともに、石室の手前側3.5mの範囲についても発掘した。現在墳丘の中腹に露出しているのは天井石の一つであり、この天井石から奥の部分については未発掘である。

当古墳は6世紀後半代の前方後円墳としては東日本最大の墳丘規模であり、小櫃川流域の木更津市金鈴塚とともに、この時期における西上総の首長の隆盛を象徴する古墳となっている。

# 飯野陣屋概念図



前方部の隅がカットされた、独特な形をしている



これが西側の外側周濠で、飯野陣屋三の丸の堀の一部として利用されている/南側から北方向に見たところ/右手が三条塚古墳



後円部の墳頂に登ろう



右手に後円部の墳頂を見たところ



左手にくびれ部辺りを見たところ



途中に何か落ちている



これが後円部墳丘の中腹に露出している天井石の一つのようだ/金鈴塚古墳と同様に、生痕化石の残る砂岩質の岩塊(房州石)が使われている



墳丘の上から見たところ



さて、ここが後円部墳頂/北東方向に見たところ



これは後円部墳頂から前方部方向(南西方向)を見たところ



これは前方部墳頂/南西方向を見たところ



これは前方部の墳丘下で前方部から後円部方向を見たところ



そこで振り返って前方部の墳丘を見たところ



参考ホームページ

[http://sgkohun.world.coocan.jp/archive/index.php/huttu\\_sanzyo/](http://sgkohun.world.coocan.jp/archive/index.php/huttu_sanzyo/)

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E4%B8%89%E6%9D%A1%E5%A1%9A%E5%8F%A4%E5%A2%B3>

<http://kazusa.ipn.org/b/archives/563>

<http://obito1.web.fc2.com/futtu.html>

